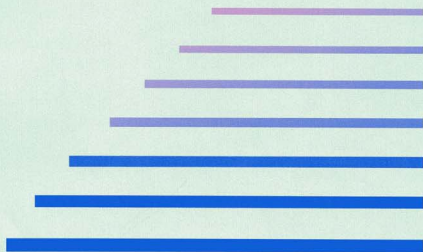


姫路市都心部まちづくり構想



姫 路 市

はじめに



姫路市の都心部は、古来より播磨地域の政治・経済・文化の中心地としての役割を担ってきました。

この都心部では、現在、交通の円滑化と姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る、JR山陽本線の高架切替がおこなわれ、残る姫新線・播但線の高架切替によいよ本格着工するなど、鉄道高架事業の完成も間近になってきました。

また、1市4町の合併により誕生する人口約53万人の新たな姫路市にふさわしい都心部として、その再生に向けた期待はますます大きくなっています。

こうした時期にあって、都心部の将来のあるべき姿を描き、市民の皆様と将来像を共有していくことが重要であることから、今後の都心部のまちづくりの指針となる「姫路市都心部まちづくり構想」を策定いたしました。

本構想は、「歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生」をまちづくりの目標として掲げ、市民にとって、さらには播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市としての役割等を踏まえ、重点的に取り組むべき事業について取りまとめています。

世界文化遺産姫路城を有する本市の都心部は、市民をはじめ訪れるすべての人々にとっての共有の財産です。この貴重な財産を守り、創り、育て、さらに次の世代に引き継いでいくためには、市民・事業者・関係機関・行政等が本構想に掲げるビジョンを共有するとともに、相互に連携し、それぞれの主体的な役割を果たしながら、まちづくりを進めていく必要があると考えております。

本構想の策定に際しましては、「姫路市都心部まちづくり構想検討懇話会」の委員の皆様をはじめ、関係者の皆様にご協力をいただき、また、市民の皆様からも多くのご意見やご提案をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

今後とも、本構想に掲げるまちづくりの目標に向け、着実に施策を推進してまいりますので、皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 18 年（2006 年）3 月

姫路市長 石見利勝

目 次

第1章 都心部の位置づけと現行構想・計画

1 都心部の位置づけ	1
(1) 姫路市総合計画の位置づけ	2
(2) 検討区域の設定	3
2 現行構想・計画と留意点	4
(1) 鉄道高架と姫路駅周辺整備	4
(2) 姫路市中心市街地活性化基本計画	5
(3) 姫路市地域経済再生プラン	5
(4) 姫路市観光基本計画	6
(5) 特別史跡姫路城跡整備基本構想	6
(6) 姫路市住宅計画	6
(7) 姫路市都市景観条例等による景観形成	7
(8) 姫路市交通バリアフリー基本構想	8
(9) 姫路駅北西地区市街地総合再生基本計画	8
(10) 道路の体系的整備と歩行空間づくり	8
(11) 姫路市都市計画マスタープラン	9

第2章 都心部に求められるもの

1 都市の最近の動向と都市の再生	10
(1) 都市の最近の動向	10
(2) 都市の再生・まちづくりの方向	11
2 姫路市の都心部に求められるもの	12

第3章 都心部まちづくりの目標と基本方針

1 まちづくりの目標	13
2 構想の目標年度	14
3 まちづくりの基本方針	14

第4章 都心部まちづくりの方向

1 対象区域とゾーン区分	17
(1) 対象区域	17
(2) ゾーン区分	17
2 各ゾーンのまちづくりの方向	19
(1) 都心部全体にかかわる事項	19
(2) 姫路駅を中心とするゾーン	21
(3) 大手前通り・商店街を中心とするゾーン	24
(4) 姫路城を中心とするゾーン	26
3 都心整備イメージ	28

第5章 都心部まちづくりの重点事業

1 播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市を めざしたまちづくり	29
(1) キャスティ 21	29
(2) 姫路駅西地区整備構想	37
(3) 都心部の道路整備	38
2 世界文化遺産姫路城を活かしたまちづくり	39
(1) 世界文化遺産姫路城の保全と活用	39
(2) 国際観光都市を目指して	40
3 賑わいによるまちづくり	41
(1) 都心商業の活性化	41
(2) 大手前通りの活用	42
(3) 都心居住の促進	43
4 人と環境にやさしいまちづくり	44
(1) ユニバーサルデザインの導入	44
(2) 環境に配慮	45

用語説明	46
------	----